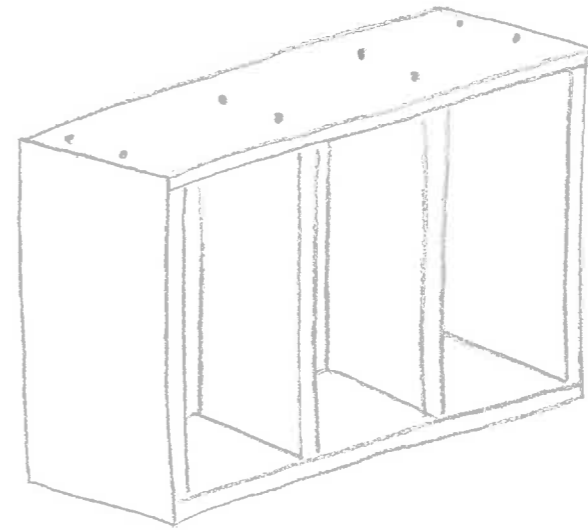
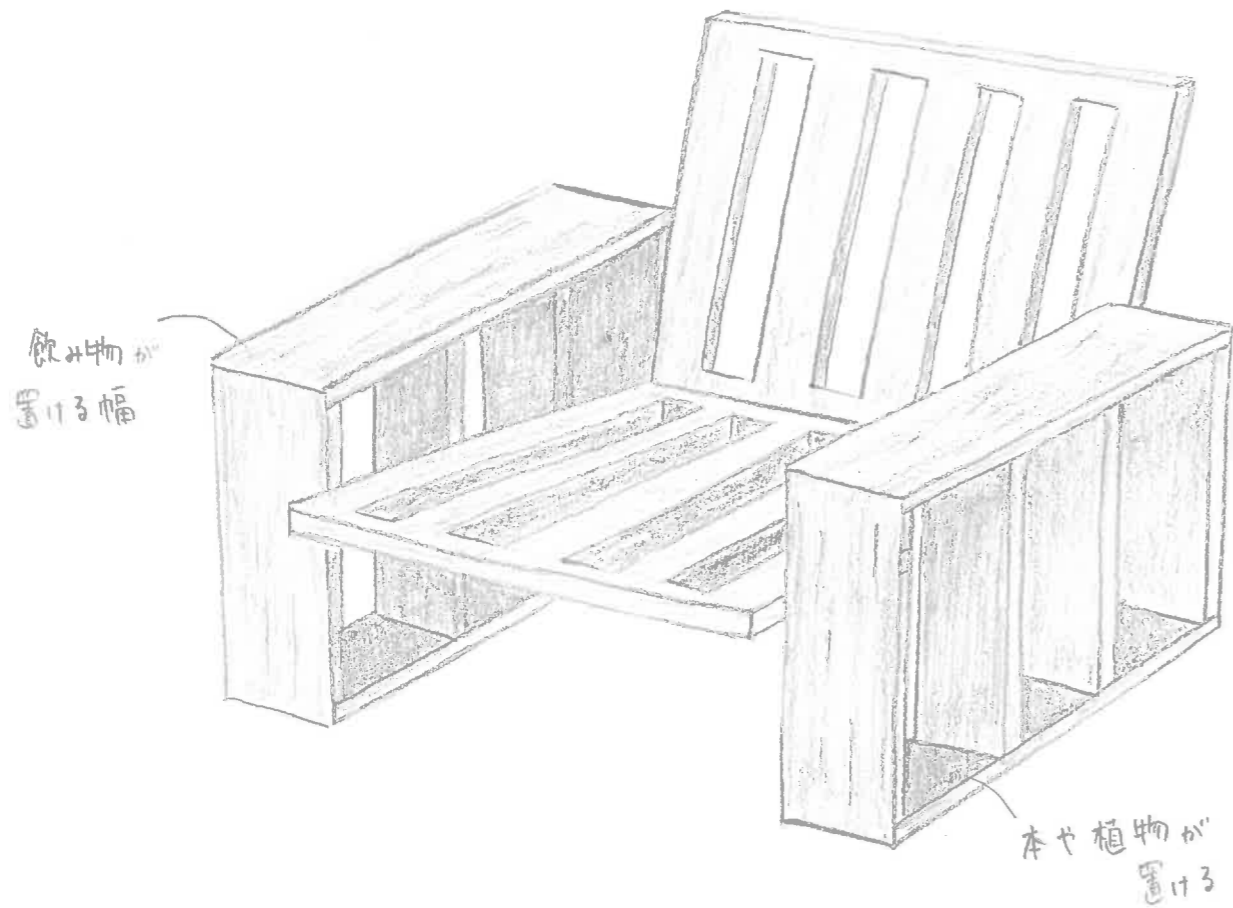
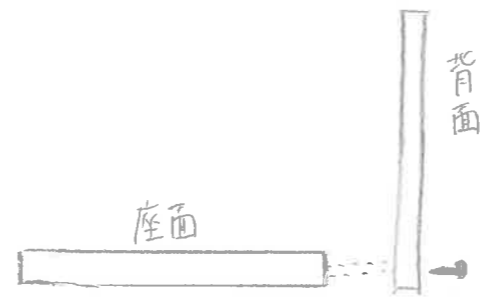


# 透ける椅子

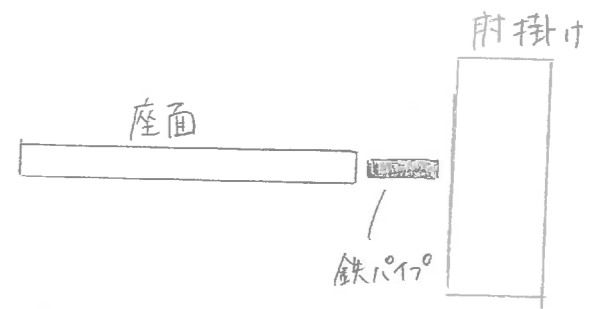


肘掛け部分

板と板をくぎで固定する



座面と背面はくぎで固定する



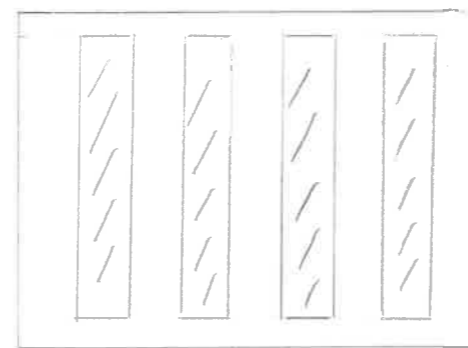
座面と肘掛けは鉄の細いパイプで固定する

背面も同様に、鉄の細いパイプで肘掛けと固定する。

## 設計趣旨

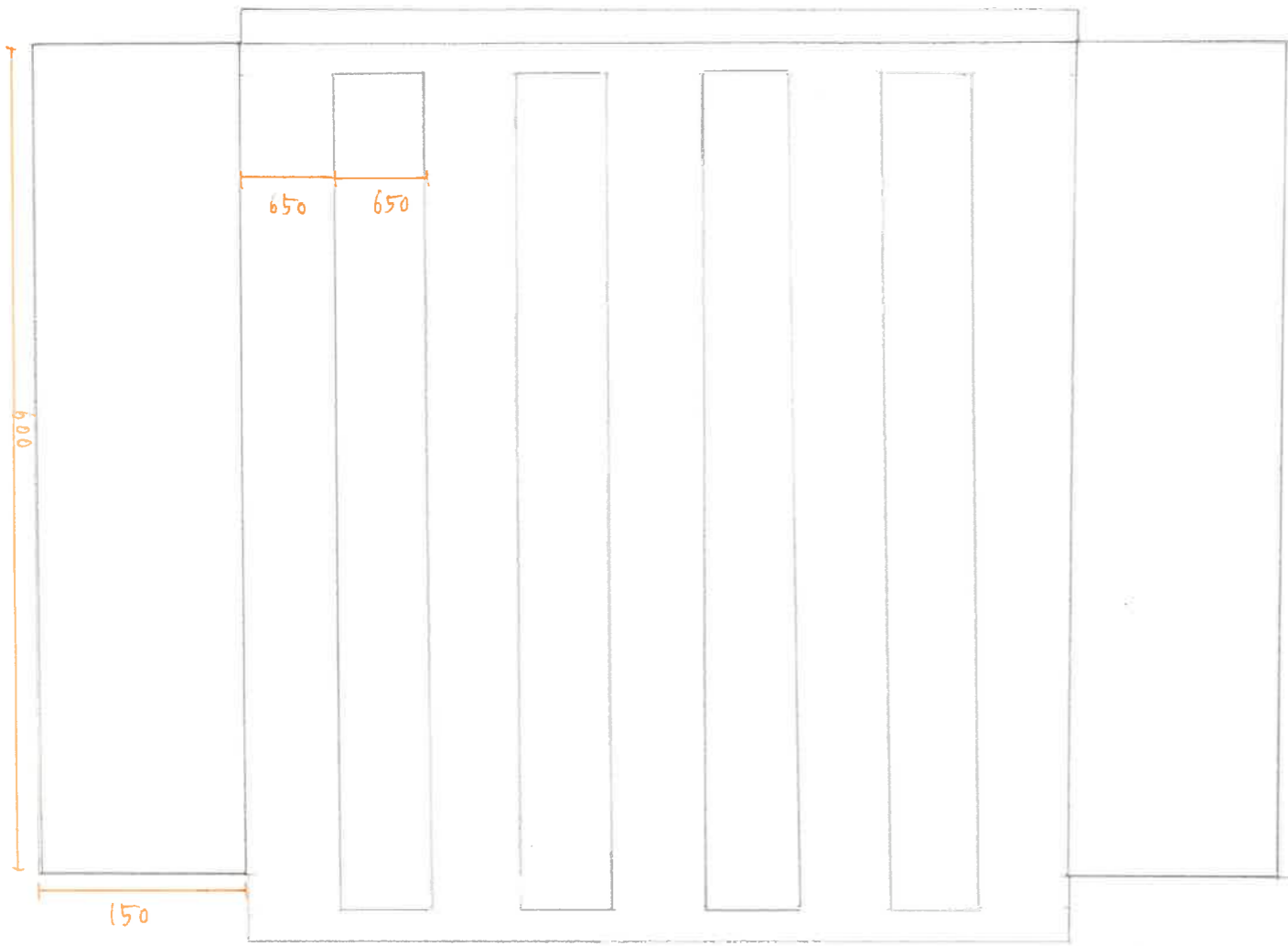
“空間の質を高める審美性”を意識し、どの角度から見ても、奥が透けるデザインにした。これにより、空間の圧迫感をなくす。素材は木材とし、色は塗らず木目を目立たせる。和室でも洋室でも調和する。

また、肘掛けの幅を広くすることで、飲み物を置いたり、下の部分には、本や植物などが置けるようにした。椅子としてだけでなく、収納としても利用できる。

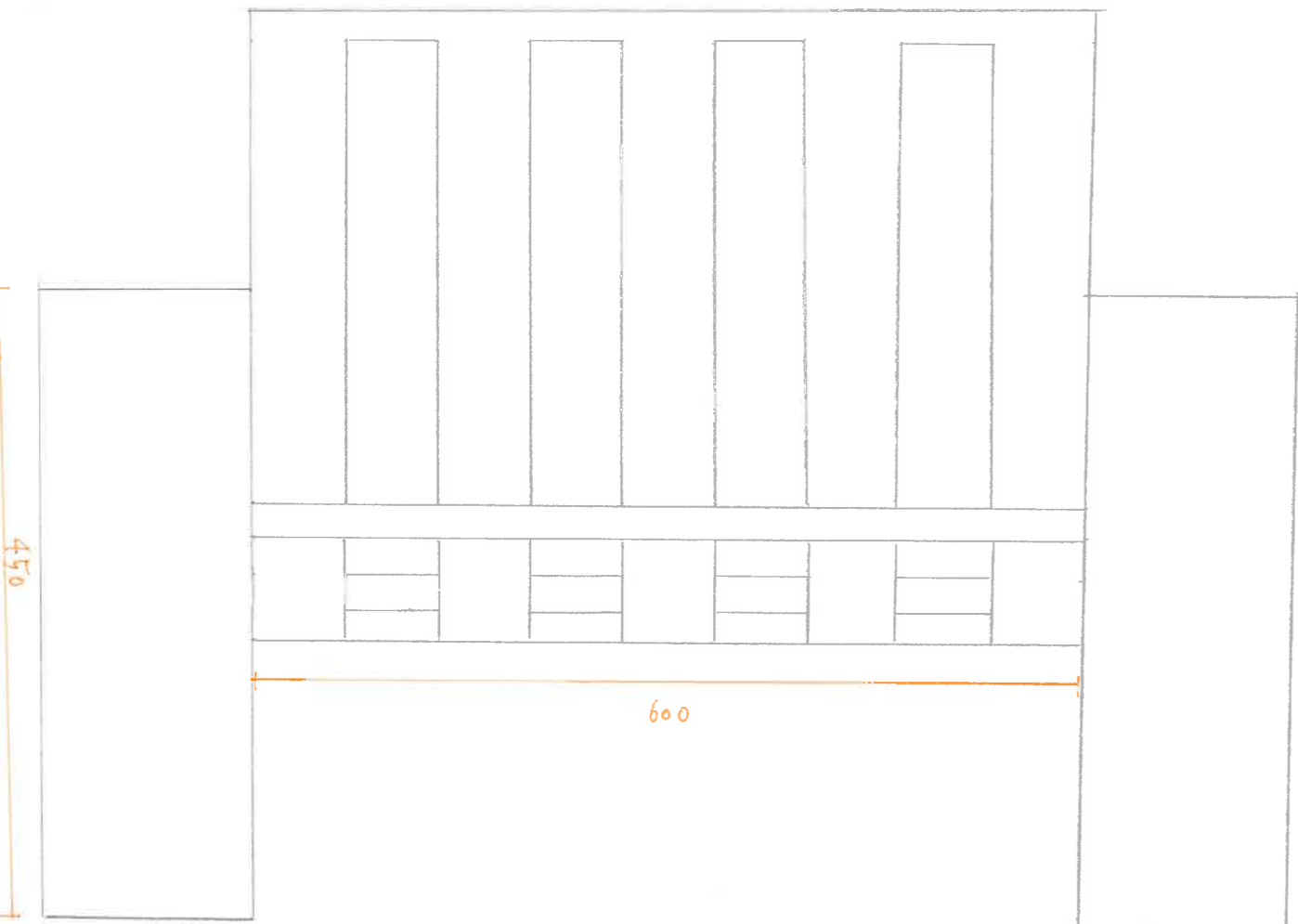


座面と背面はそれぞれ1枚の板からくり抜いて作る  
→ 作業が簡単になるため、量産が可能となる。

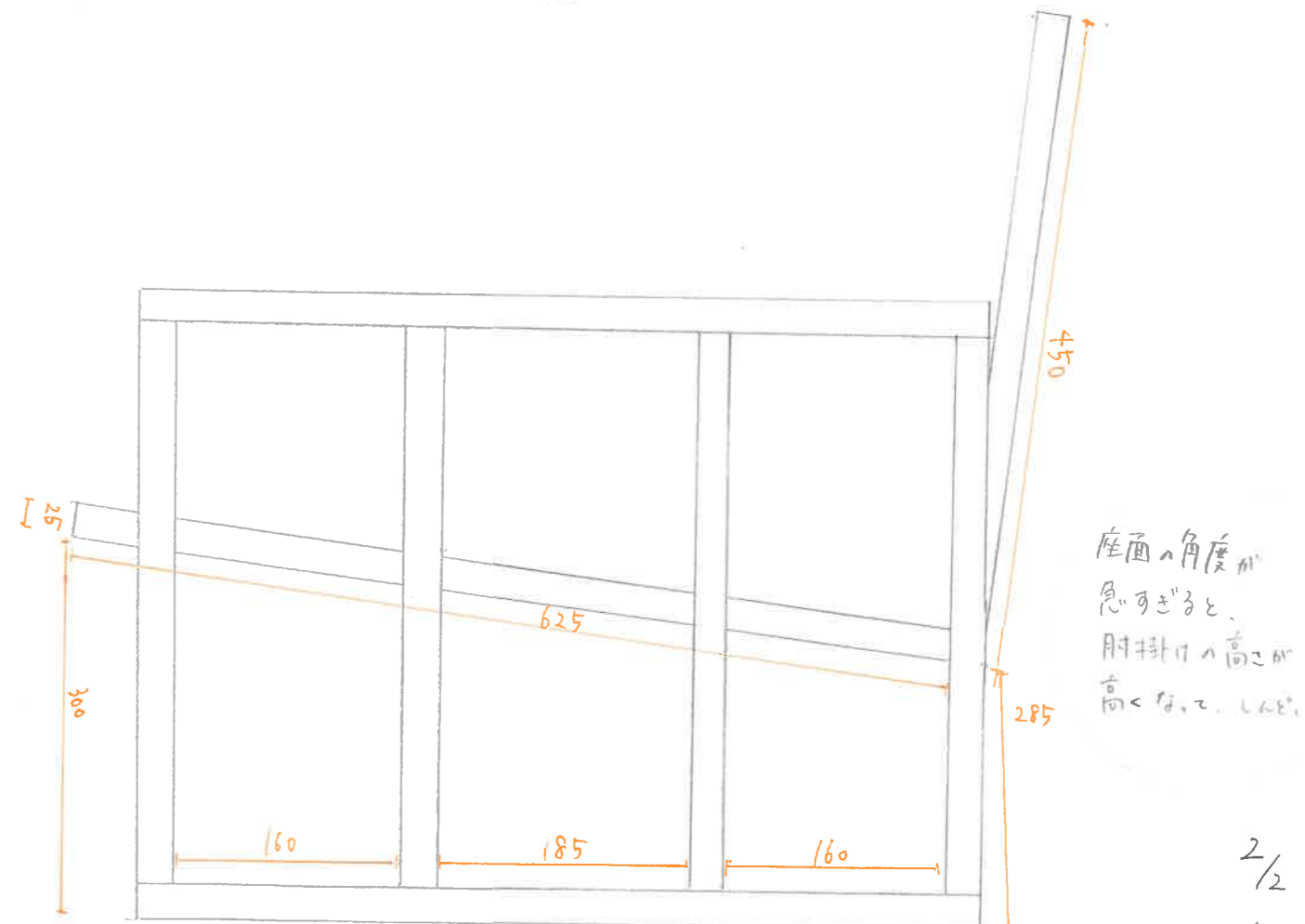
上面



正面



側面



座面の角度が  
急可きると  
肘掛の高さが  
高くなる。L.L.L.

2/2

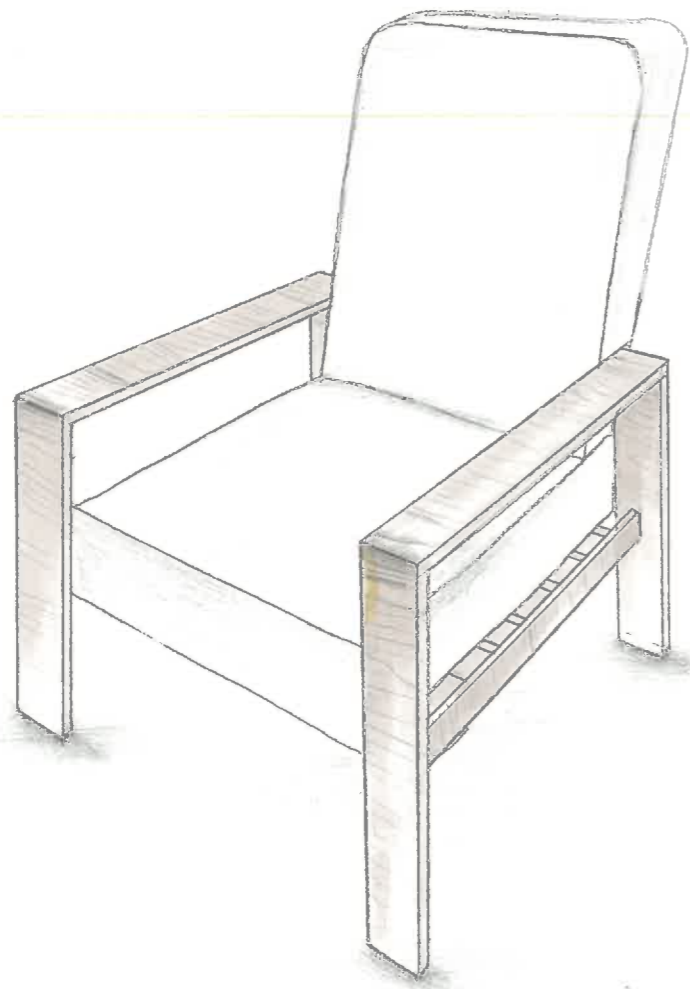
E724022 平野 希依

# くつろぐ<sup>00</sup>

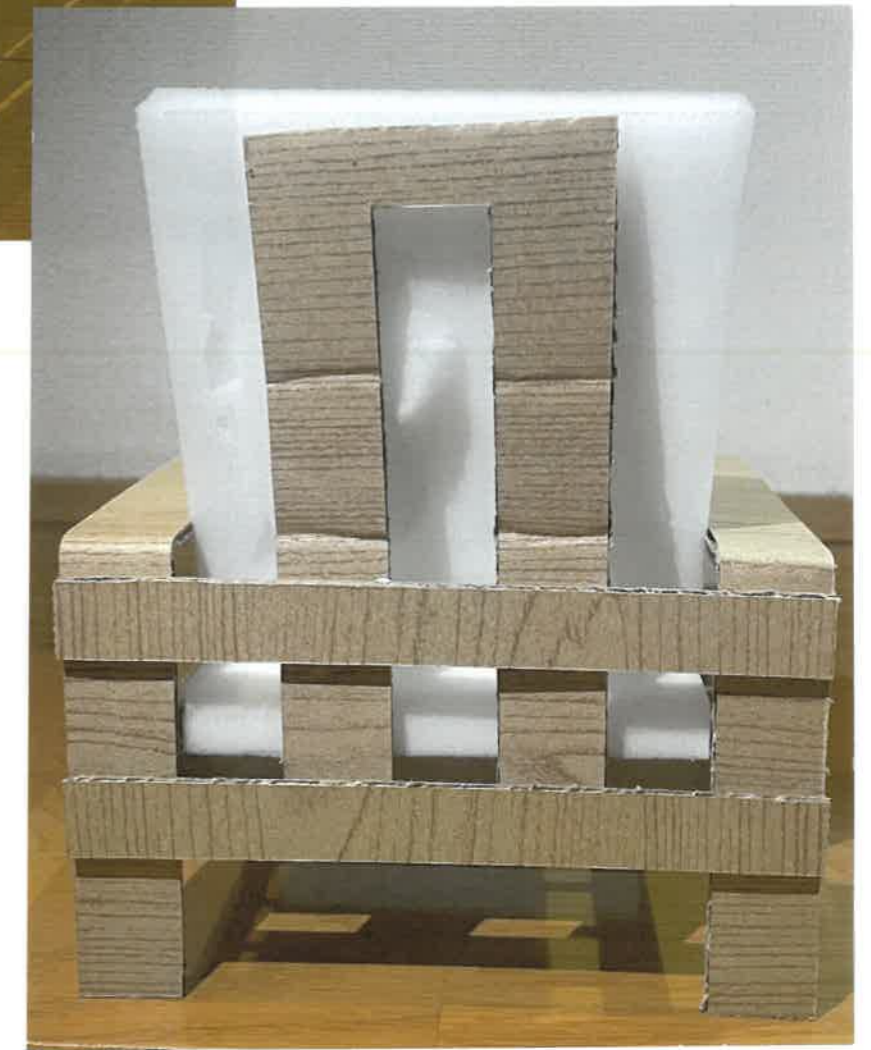
家具デザイン 課題1

E724006 大平 紗芭

「くつろぐ」椅子で浮かんだイメージは、座った状態で飲み物を飲んだり本を読んだりすることだった。さらに、足を乗っけリラックスした姿勢ができる椅子が「くつろぐ」際の姿勢として頭に浮かんだ。そこから、肘置き幅を広めに取り、ドリンクや本など、物を置くことができるようにした。また、座面と背面は広めのクッション生地を取り入れ、様々な姿勢で過ごすことができるように「1人用ソファ」をイメージした。さらに、シンプルな基礎の作りとなっているため、量産にも適していると考えた。

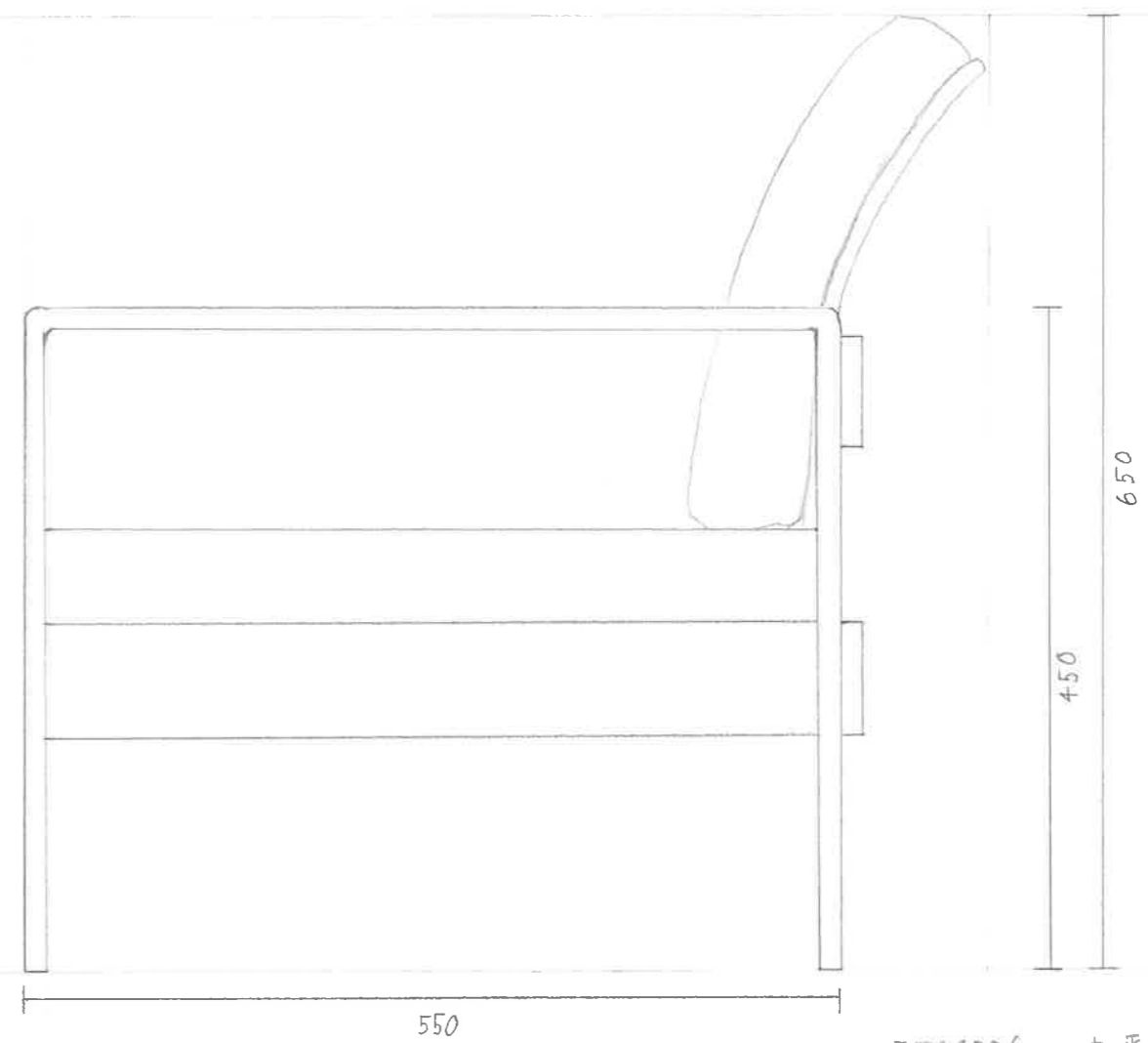
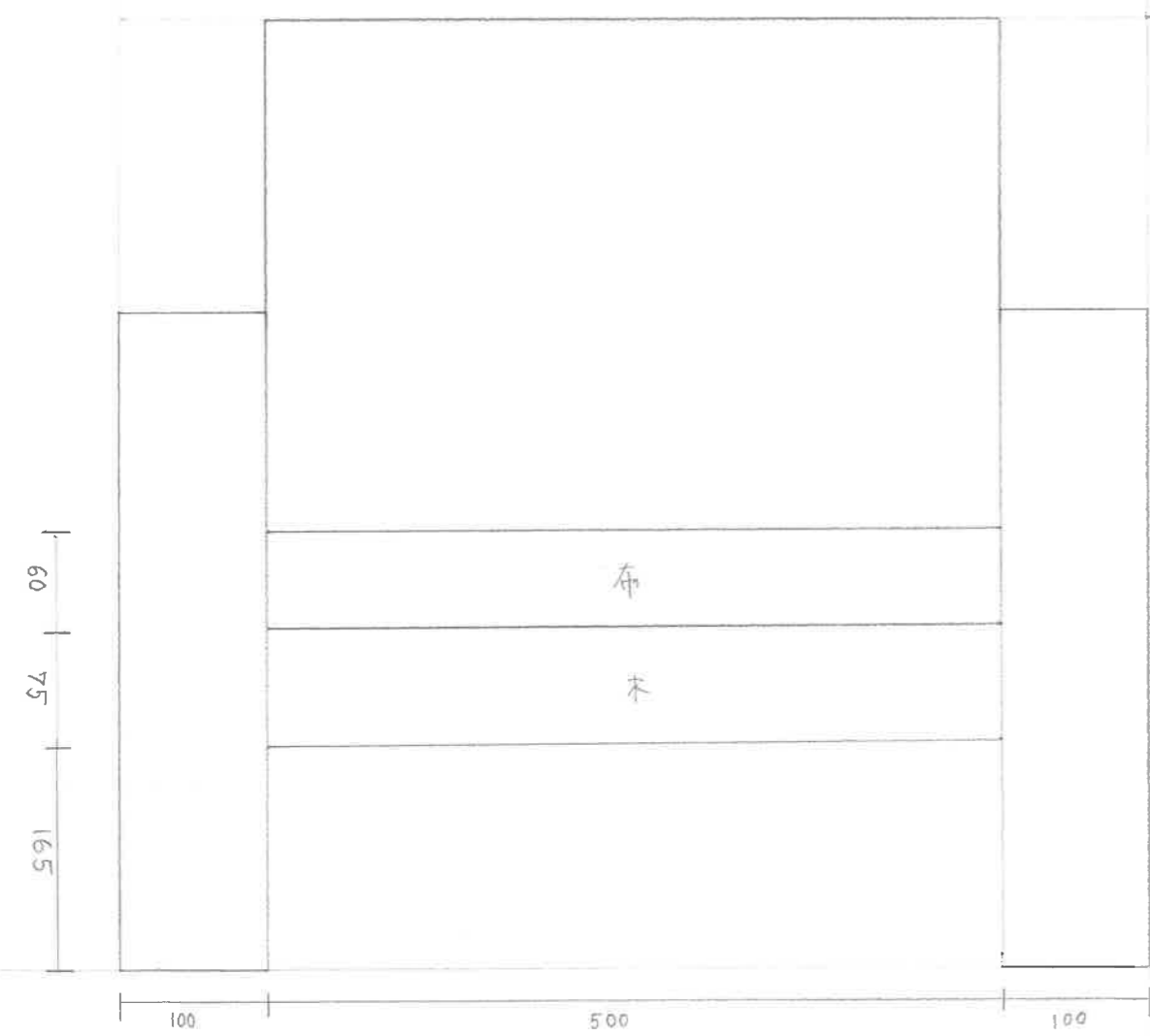
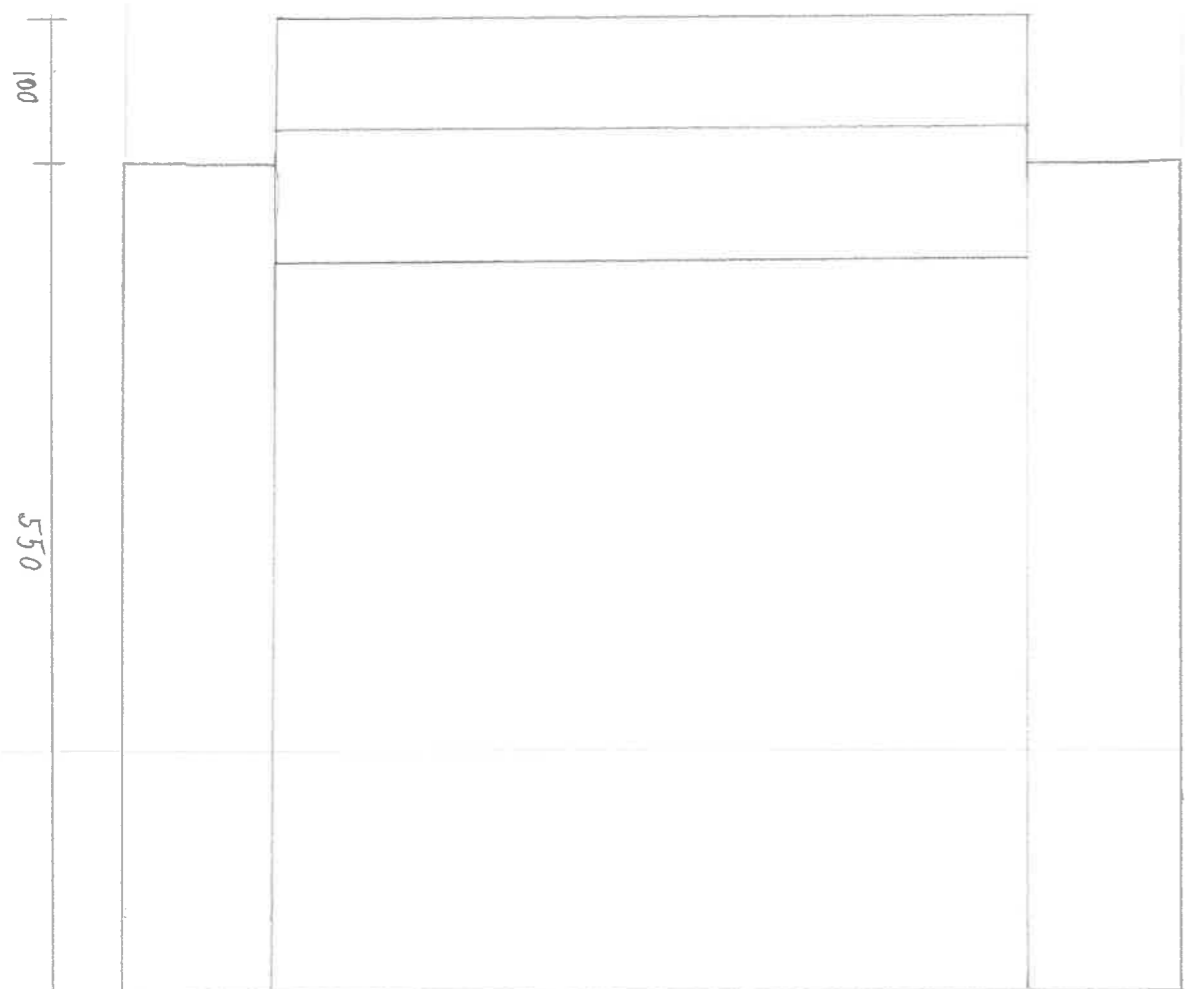


木材面積を合計しても  
9000 cm<sup>2</sup>以下でつくられる。



S=1:5

E724006 大平紗芭

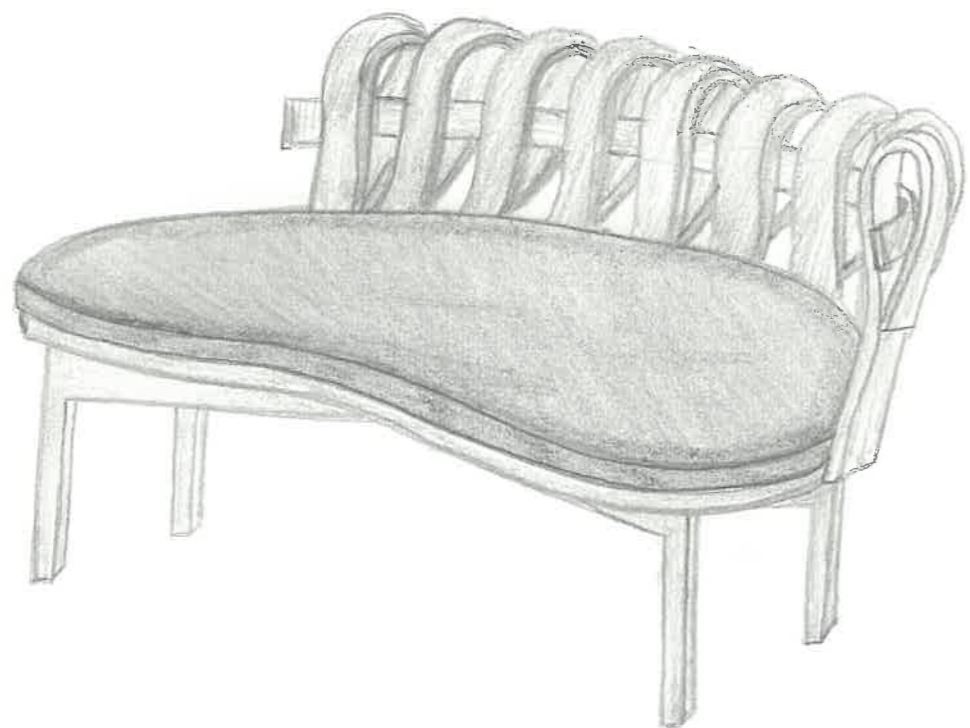


E724006 大平紗芭 2/2

# 「くつろぐ」椅子

## ● 設計趣旨

広々とゆとり座れるように、足を伸ばして座れるように、通常の椅子よりも大きくした。椅子には、曲木を使用して柔らかく温かみのある、ダイニングやリビングにあるとその空間がより美しくなるようにデザインした。



— イメージスケッチ —



背面は曲木で！

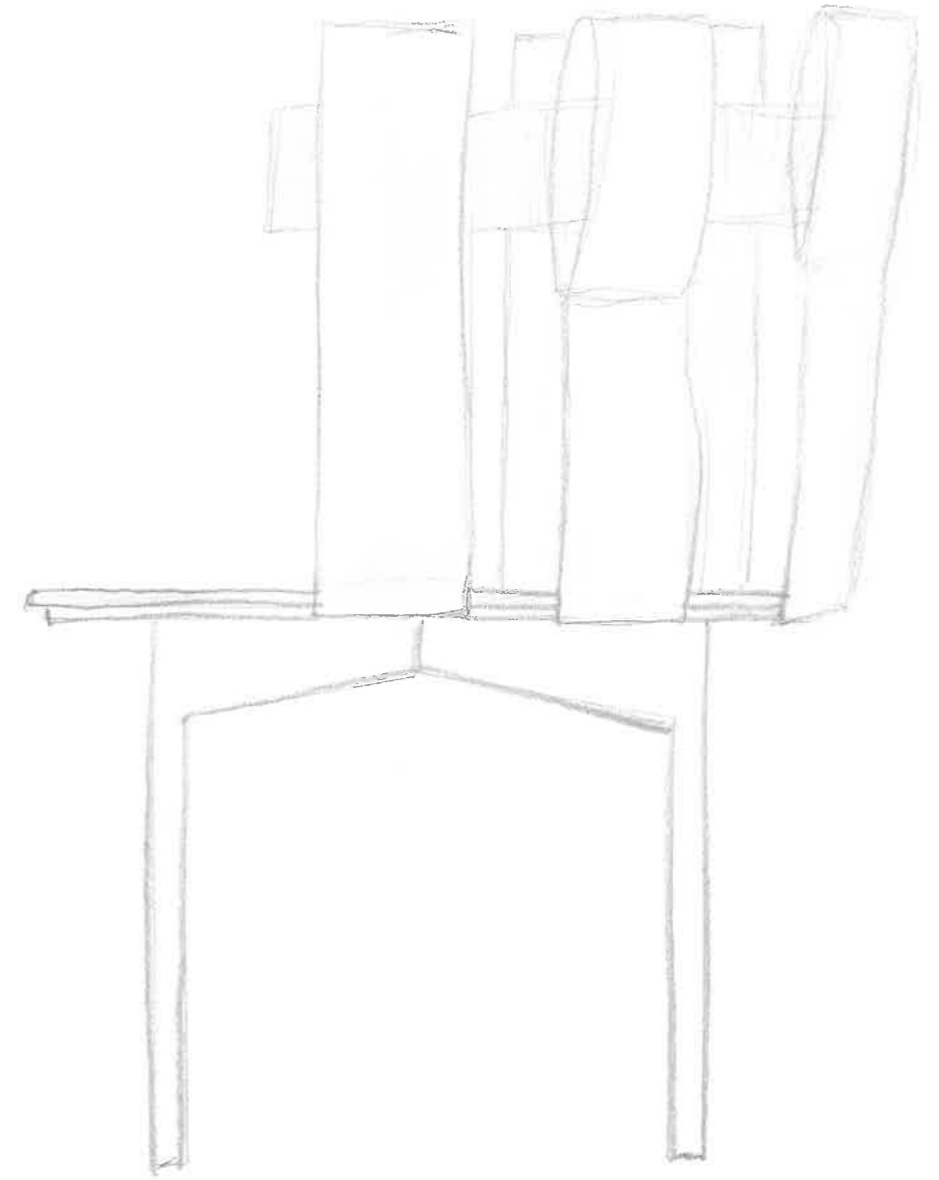
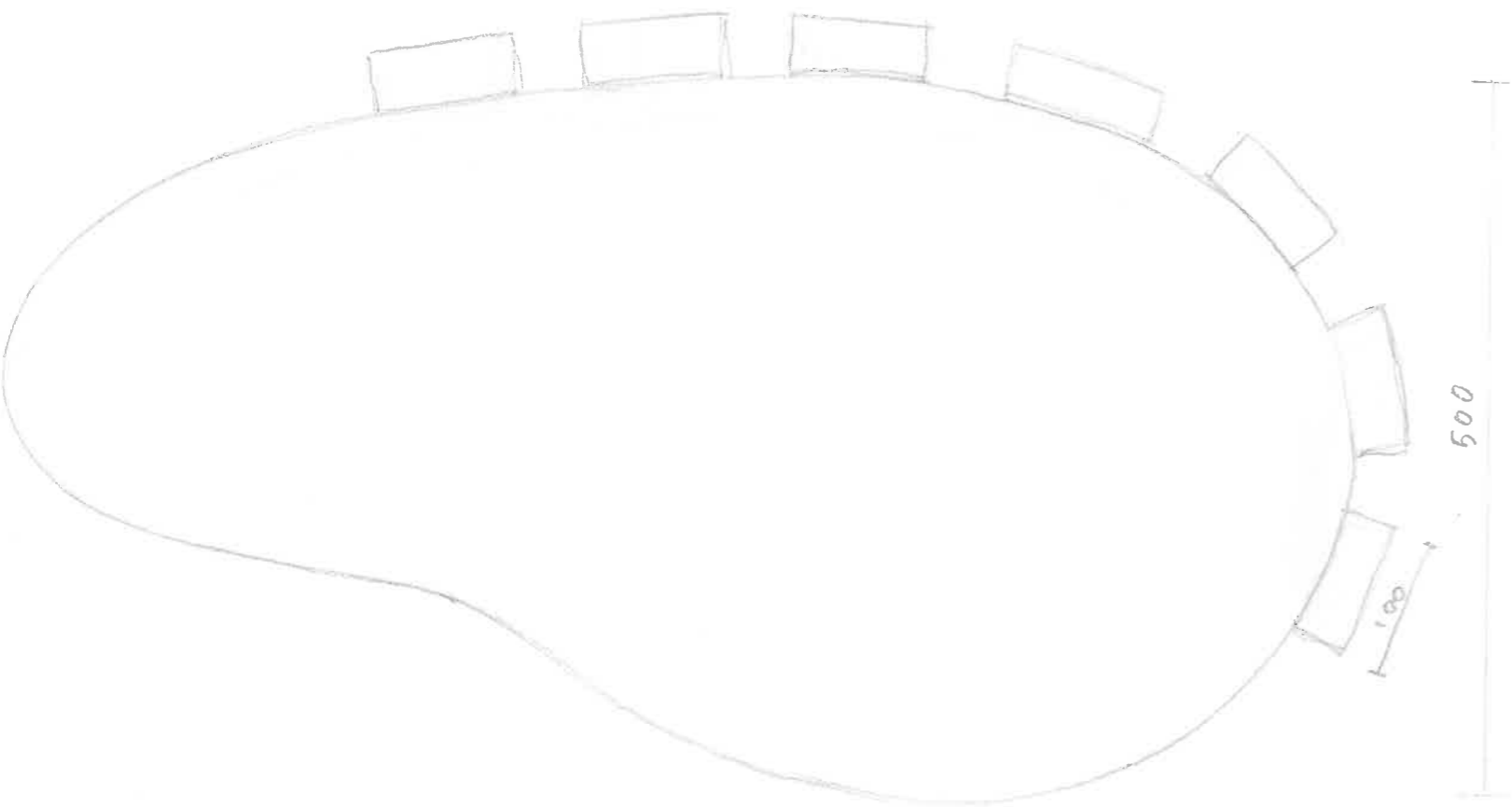


カーブがあるのがポイント！



足を伸ばしてくつろぐ！

— 模型写真 —



— 三面图 —